

中井町郷土資料館施設管理

教育委員会 生涯学習課

中井町の文化財について

文化財とは…長い歴史の中で、文化として生まれたもの

有形文化財（石仏、道祖神、山車など）

無形文化財（民俗芸能など）合わせて21の文化財を
「町指定重要文化財」としている。

指定重要文化財でなく、昔使われていた農具なども「文化財」

中井町郷土資料館について

郷土資料を収集し、整理して保管

郷土資料の調査および研究を行うため

昭和58年2月完成
同年4月開館

⇒主に、開館当時に町民が所有していた

昔の農具などを収集し、保存



郷土資料館の位置

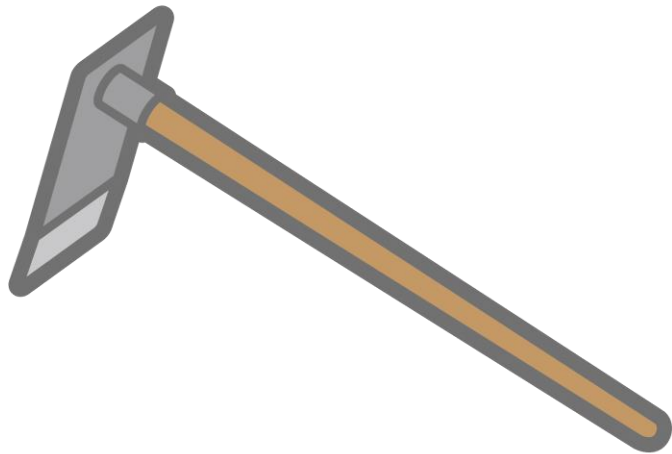
農村環境改善センター
(生涯学習課事務室)



郷土資料館

郷土資料館の中には…

農具 およそ50種類



生活用品 およそ70種類

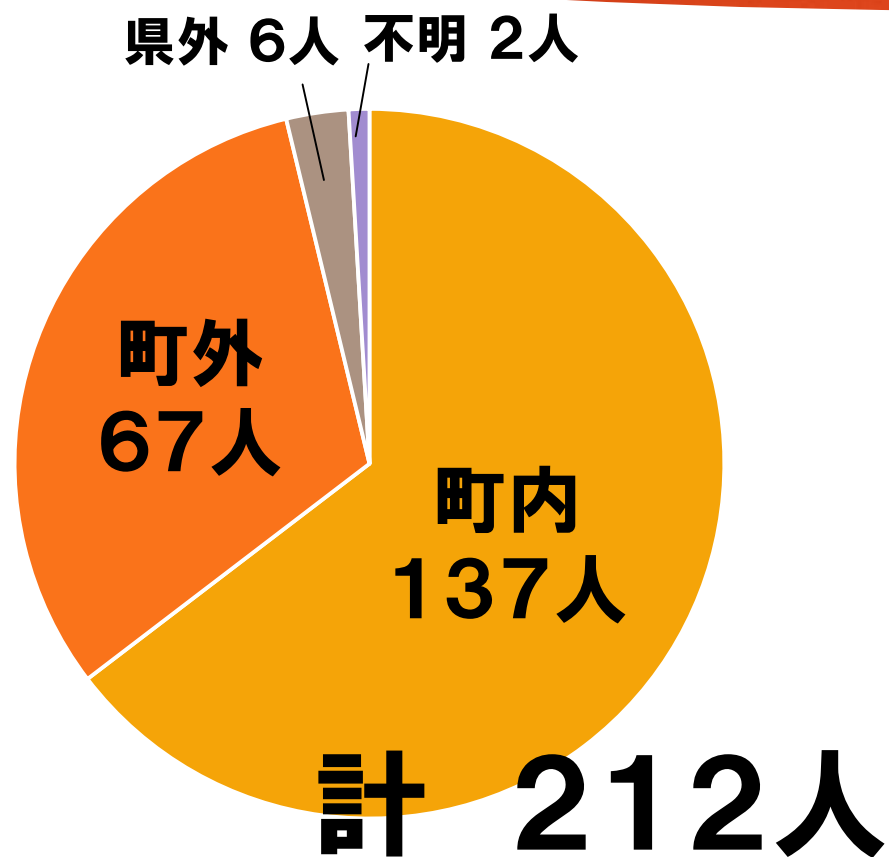


縄文・古墳・平安時代の
遺跡出土品等も合わせ…

計850点 を資料館内に展示

年間の来館者数

※平成30年度



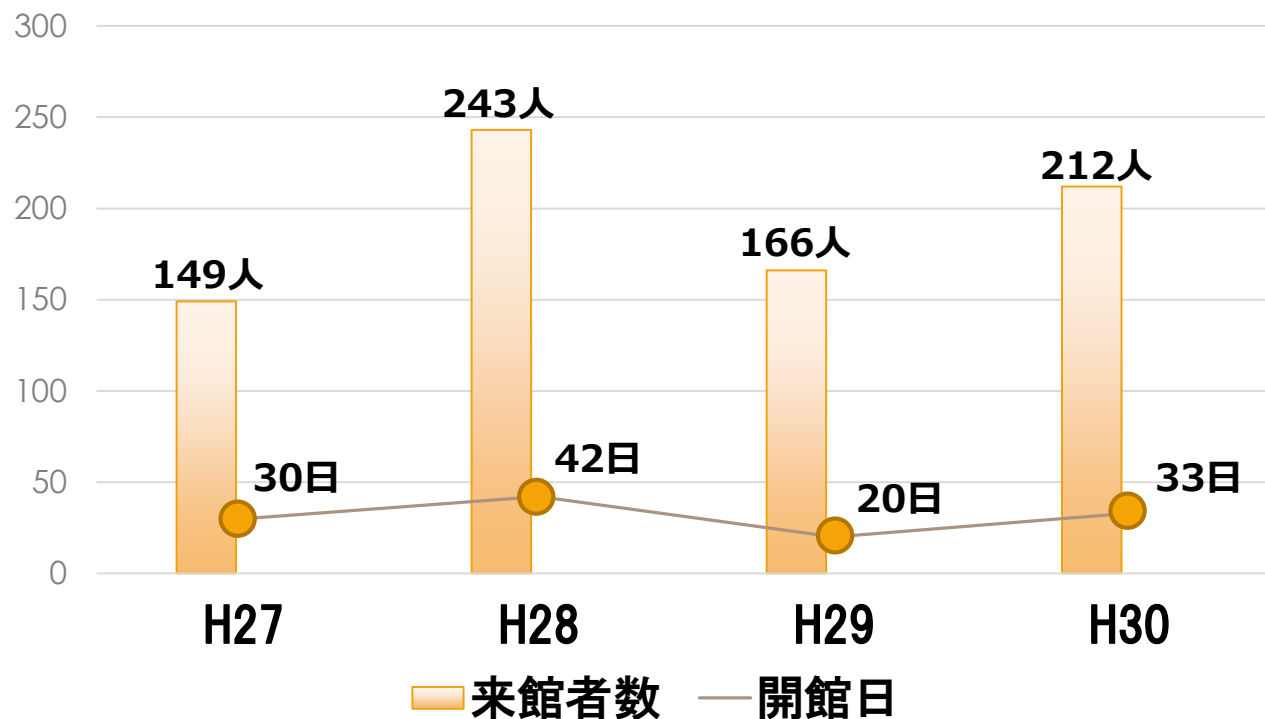
月別の来館者数

4月	7	10月	1
5月	9	11月	82
6月	0	12月	1
7月	2	1月	4
8月	33	2月	43
9月	29	3月	1

※11月は例年
郷土資料館特別展を実施

来館者数の推移

来館者・開館日の数



年間平均

来館者数 **192人**

開館日数 **31日**

資料館の維持管理費用(年間) ※令和元年度

- ▶ 水道料 65,156円
- ▶ 火災保険料 13,761円
- ▶ 防犯設備保守点検委託料 39,600円
- ▶ 消防設備保守点検委託料 24,818円
- ▶ 清掃委託料 84,700円
- ▶ 浄化槽保守点検委託料 8,720円
- ▶ 浄化槽法定検査委託料 5,000円
- ▶ 土地使用料 166,079円

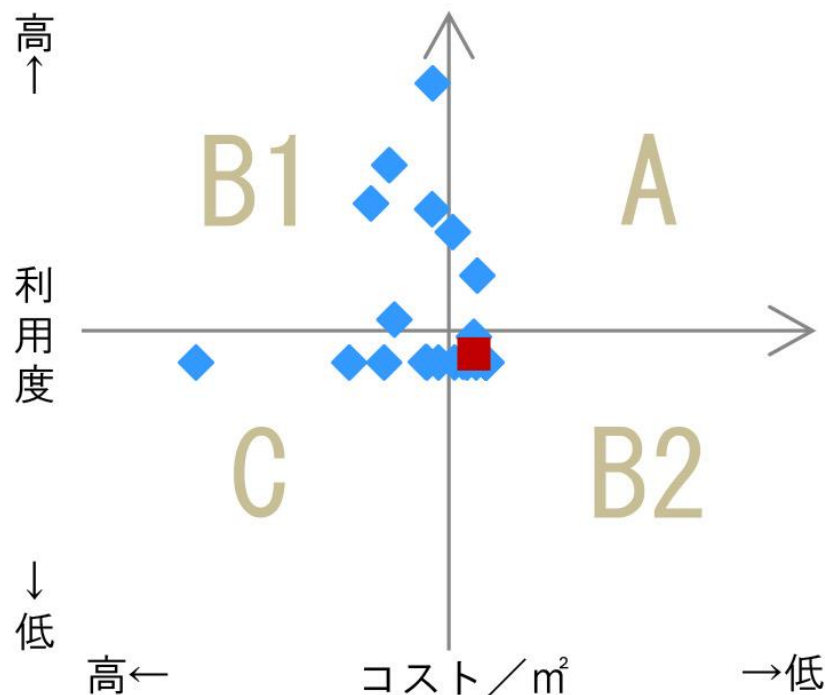
計 407,834円

資料館の長寿命化計画について

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

○費用対効果分析（利用度とm²あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値である。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B 1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B 2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（用途）の他施設

費用対効果分析 「B 2 利用度改善」

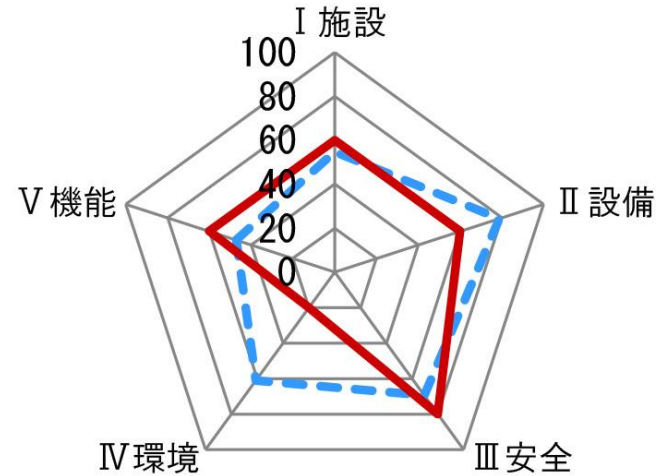
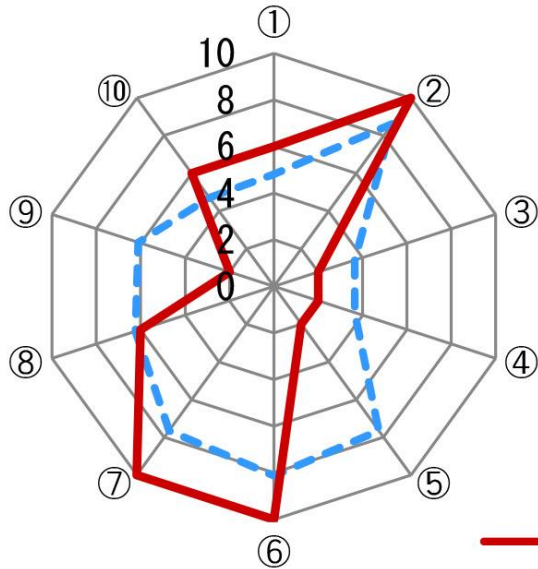
資料館の長寿命化計画について

施設性能分析

【施設性能分析（建物の経過状況、施設アンケートによる定性的な分析）】

○評価小分類によるチャート

○評価大分類によるチャート



—— 当該施設の値
 - - - 比較対象（用途）の他施設の平均値

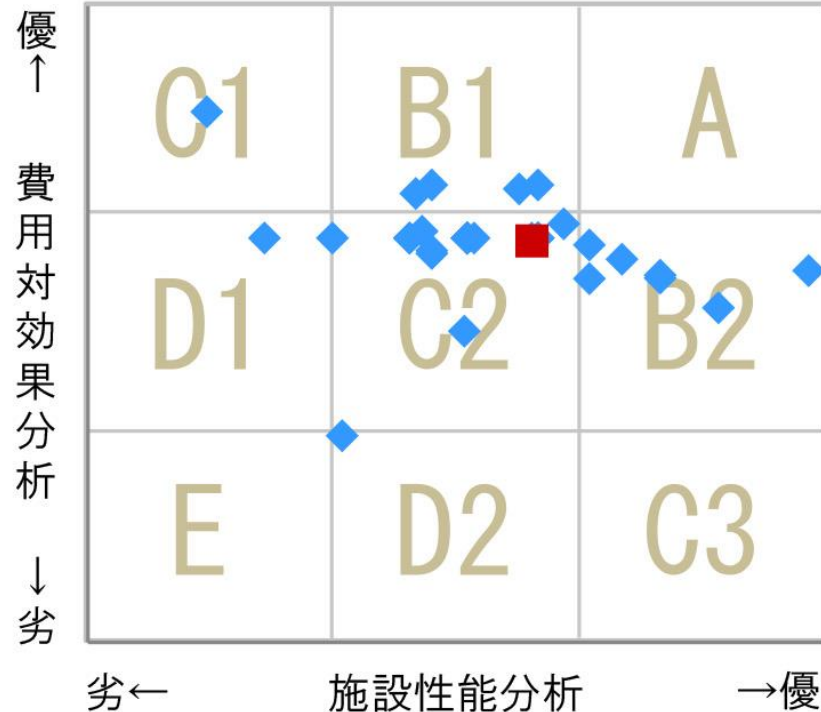
	I 施設	II 設備	III 安全	IV 環境	V 機能
凡例	①建物の老朽化	②建物の耐震性能	⑤冷暖房	⑦防災管理	⑨環境保全
		③建物の外壁	⑥給排水	⑧安全管理	
		④建物の屋根・屋上			

施設性能分析 外壁、屋根、屋上が老朽化⇒雨漏りしている部分がある

資料館の長寿命化計画について

一次評価

○一次評価（費用対効果／施設性能）



区分	対応	方向性の考え方
A	継続	長寿命化を基本とする
B 1	向上	施設性能の向上を検討する
B 2	向上	費用対効果の向上を検討する
C 1	改善	施設性能の改善を検討する
C 2	改善	施設性能と費用対効果, 両方の改善を検討する
C 3	改善	費用対効果の改善を検討する
D 1	見直し	施設性能の見直しを検討する
D 2	見直し	費用対効果の見直しを検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果, 両方の見直しが必要である

凡例： ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象（用途）の他施設

総評価 「C 2 施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する」

資料館の長寿命化計画について

長寿命化計画より算定された、2029年までのコスト

⇒合計1,430万円（建築・電気・機械修繕）

生涯学習課にて算定した、2025年までのコスト

⇒合計550万円（屋根防水、LED化、一部内壁）

中井町郷土資料館

開館時間

9:00

自動



入館者の皆様へ
受付名簿に
お名前・人数を
ご記入ください

土足脱履
お願ひ
スリッパには
かえてください



郷土脱履

受付

文化
保護



課題点

- ① **重要な文化財を保存しているのに、
建物の老朽化等により、保存環境がよくない。**
- ② **専任職員がいないので、専門知識が不足し、
適正な管理がされず、乱雑した状態になっ
てい
る。**

①建物の環境について

空調設備は無く、窓を開放する等の換気、
防腐材、乾燥材を散布している。

雨漏り部分には物を置かないか、
動かさないものは上からシートをかけて
濡れないようにしている

①建物の環境について

空調設備の設置…

町民交流センターの建設が令和5年度まで凍結
建設計画によっては、空調設備の設置を検討する

雨漏りへの対応…

令和3年中に屋根の修繕を実施

②専任職員の配置について

専任職員を配置すれば短期間での効果が期待できるが、現状の来館者数だと、専任職員の配置はできない。

⇒有識者より、郷土資料館へのアドバイスをもらう。

アドバイザーとして…

- ・町政策顧問
- ・町文化財保護委員

アドバイザーと職員で館内の確認や、他自治体の資料館を視察する。

文化財保護委員とは…

町文化財の調査研究を行っている 定数7人

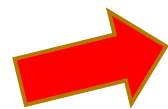
- ・ 広報紙連載「町の文化財あれこれ」
- ・ 文化財めぐりウォーキング
（「なかい文化財めぐり」全7コースの中でいずれか）
- ・ 郷土資料館特別展
（H26:大山道、H27:古文書展（江戸時代の災害）、
H28:中井村大震災記念誌の解説、H29:五所例大祭の奏楽と囃子、
H30:なかいの年表、R1:古文書教室） など

収蔵品のデータ化（アドバイザーと同時並行）

◎ 展示品を全て写真撮影しデータ化

写真データ・説明文を用い、
台帳を再作成する

説明文も別途データ化し、
QRコードでの紐付も
検討する。



インターネットで情報発信を



←現在の町ホームページ

資料館内(一部) の写真を掲載しているのみ



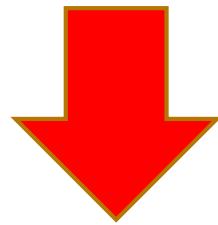
写真データと説明文で、内容を充実させる。

SNSも活用し、まずは郷土資料館の存在

を知ってもらい、来館者数増加につなげる。

課題点のまとめ

来館者数が少なく、専任職員を配置できない。



**専任職員がおらず施錠をしたままだと、
館内管理がおろそかになり、
貴重な文化財を適正管理できない。**

課題解決のまとめ

アドバイザー等の協力を得て、現在の資料館に不足しているものや、館内レイアウト、来館者を増やすための広報戦略を検討する。



来館者数を増やすことができたなら、資料館専任職員の配置を検討する。



定期的な企画展等により、校外学習や自由研究として利用していただき、来館者数を維持していく。

適正な施設管理のための、良い循環を作りたい

中井の歴史を残すための郷土資料館



ご静聴、ありがとうございました。